

如 水

スローガン

**誰もが安心して暮らせる如水
みんなの力でつながる如水**

実践目標①日頃から、隣近所との関係づくりをしよう！

実践目標②地域の情報を共有できる仕組みをつくろう！

実践目標③ゴミ出しマナーの意識・知識を高めよう！



如水地区は保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校を有した地域である一方、果樹園等が多くある農村地帯でもあることから、働く元気な高齢者が多い地域です。

つながりづくりを目的に住民主体で実施しているコミュニティーセンターでのサロン活動は長年続いており、新たに空き家を活用した地域サロンも始まりました。また、防犯パトロールや見守り活動も活発に行われているなど地域全体で支え合いの意識が広がっています。

	2011 (H23) 年	2016 (H28) 年	2021 (R3) 年
人口	6,364	6,517	6,599
世帯数	2,642	2,828	3,153
高齢化率	18.5%	22.5%	25.0%
一人暮らし高齢者	297	403	541
高齢者のみの世帯		1,047	1,202
0~18 歳人口	1,328	1,329	1,259

※各年ともに9月30日時点のもの(中津市の統計データより)

実践目標と理由・効果

実践目標①

日頃から、隣近所との関係づくりをしよう！

「地域行事は年々減少していて、近所の人と顔を合わせる機会が少なくなった」「隣に住んでいる人を知らない」などと、近所づきあいが希薄だと感じているという声が多くありました。

隣近所に住む人との関係づくりのきっかけとして顔を合わせる機会をつくることで、日頃からの挨拶や声かけを行うなど、互いに気にかけてくれる関係性を構築できます。また、“地域行事へ参加しづらい”と感じている人も日常の関わりや付き合いがある人からのお誘いがあると、参加しやすく、行事参加者の増加につながります。

実践目標②

地域の情報を共有できる仕組みをつくろう！

「困っていても相談する所が分からない人がいる」「必要な情報が伝わっていない人がいる」などと、周囲の人が心配しているという声が多くありました。

地域の情報を共有する場や発信する機会があれば、困っている人には相談場所や窓口を伝えることができ、情報を求めている人に対しては必要な情報を届けることができます。困った時に手助けしてもらええる環境があることは、いつまでも住み続けられる地域へとつながります。

実践目標③

ゴミ出しマナーの意識・知識を高めよう！

「ゴミ出し日が分からない」「分別ができない」など、ゴミ出し方法が“難しい”と感じているという声が多くありました。

ゴミ出しについての理解が難しい人へは繰り返しお伝えしたり、分かりやすい表示を作成する等で周知していくことが効果的であり、互いに教え合える関係性を築くことで、如水地区全体のゴミ出しマナーに関する意識・知識の向上につながります。

他にも出ましたこんな意見!!

住民同士のサロン
を活性化しよう



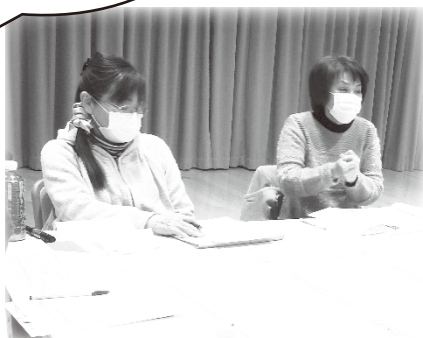
新しい団体が活動で
きる場をつくろう



【如水】

活動内容	進 捗				
	R4	R5	R6	R7	R8
集まって顔を合わせて話す機会をつくる					
住民同士が気軽に意見交換ができる場をつくる					
支え合うために、お互い（近所の人）を知る機会を設ける					
隣近所で気をかけ、声をかけ合う等日頃からの関係づくりをおこなう					
登下校時、近所の人が出た家の前に出る					
新しい人でも参加できることを周知する					
サロンに参加する					
防災訓練に消防署の人に来てもらい、人を集める					
防災士会と協力し、炊き出し訓練をおこなう					
情報共有の場をつくる					
声をあげられない人に対して支援をする					
専門的な方につなげる					
一人暮らしの人や、身内のいない人に制度を知らせる					
自分たちだけでできるような仕組みやシステムをつくる					
ゴミの分別が分からない人にはルールを何度も繰り返して伝える					
クリーンプラザに依頼し、勉強会を開催する					
ゴミの収集場に分かりやすい張り紙をする					
防犯カメラをつける					
自治会と民生委員とで話し合う機会をもつ					

住民同士で助け合
いができる仕組み
をつくろう



空き家についての
情報発信や学ぶ機
会をつくろう

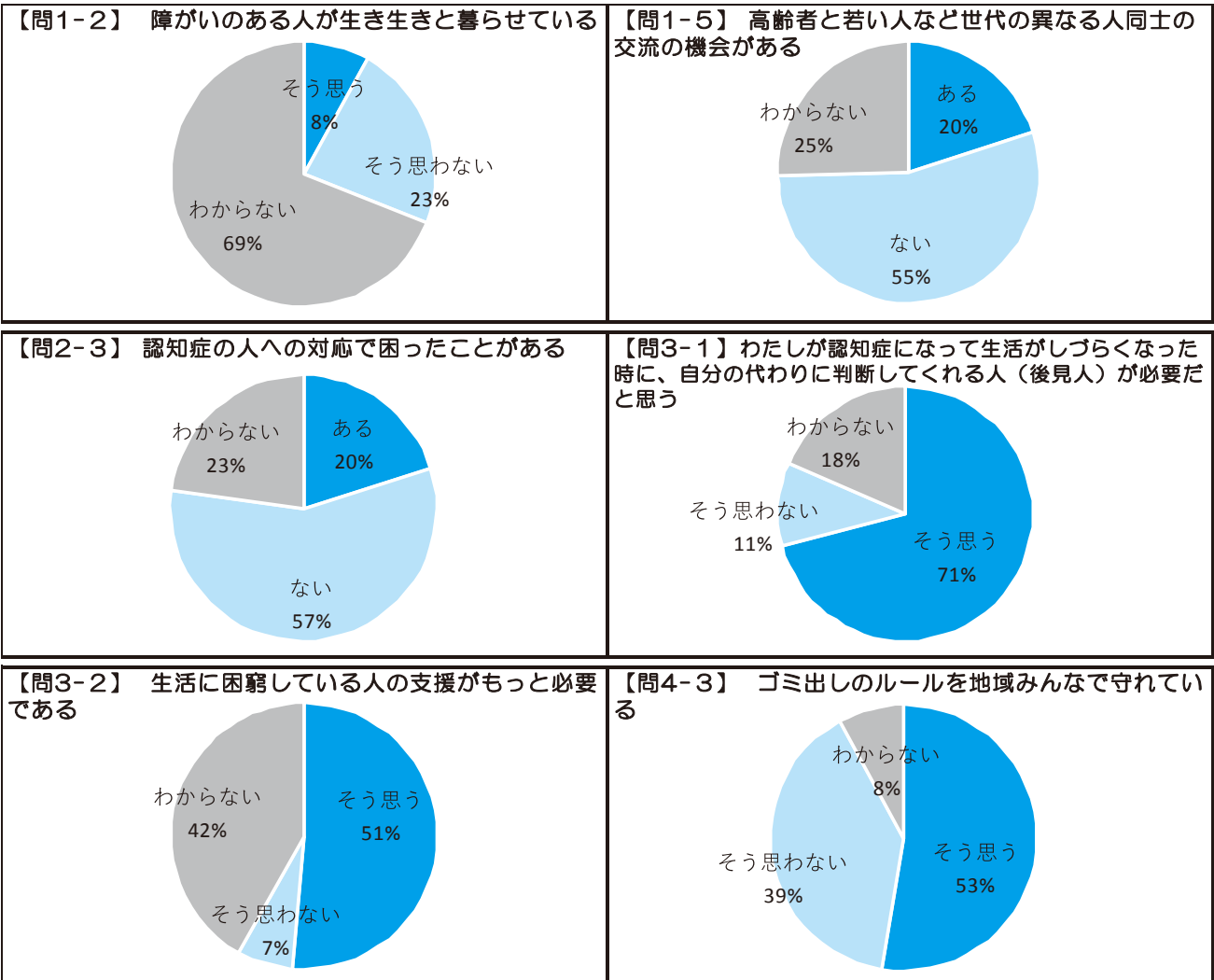


第4次の実践目標はこうして決まりました

如水地区の「地域のつながりアンケート」結果

回答者数	76人（男性31人/女性44人/無回答1人）
回答者年代	高校生：5人、30代：1人、40代：5人、50代：4人、60～64歳：3人、65～74歳：34人、75歳以上：23人

内容抜粋 無回答分は除いています



アンケート結果から作業部会で出た意見(課題)

- ・チラシを配ったり訪問して参加の声かけをする
- ・サロンがどんなことをしているのかなど活動内容の周知をおこなう
- ・仕事がなく困窮している人に対して制度の周知をおこなう必要がある
- ・その人に合った適切な支援ができる仕組みが必要
- ・障がいのある人との関わる機会が必要
- ・近所の人と乗り合わせで買い物や、病院に行ける仕組みがあると良い
- ・どんな人に後見人になってもらえるかなど成年後見制度について知る機会を設ける
- ・ひきこもりに関してのイメージを変えてもらえるような取り組みが必要
- ・防犯の意識を高めるために地域の人が防犯パトロールをしていることを周知する

作業部会で出された、如水地区の良いところ

- 友愛活動や民生委員の活動が活発で安否確認ができています
- 自治会長や民生委員が困りごとに対応してくれた
- 防犯パトロールが活発
- 移動販売車がたくさん来ている
- 困った時に支え合えてくれる人がいるとよく聞く
- コミュニティーセンター活動、サークル、サロン、地域行事等へ元気に参加している人が多い
- コミュニティーセンターや集会所がきれいで使いやすいところが多い
- 日常生活の中で助け合いが行われている（声かけ、草刈り、買い物、ゴミ出しなど）

様々な意見をもとに作業部会で、整理をし、第4次地域福祉活動計画を作っていました



如水の社会資源

(R3年度現在、登録状況や作業部会の方々の意見を参考に作成しています)

お宝 (住民による住民のための支え合いや参加を進める活動のことです)

住民同士の 交流・つながりの場	地域サロン	サロンつばめの家 (毎週月曜・つばめの家)
	広域型いきいきサロン	如水ふれあいサロン (第3火曜・如水コミュニティーセンター)
	週一体操教室 (2)	上如水団地健康クラブ (毎週水曜・上如水団地健康クラブ) 如水めじろん体操 (毎週金曜・如水コミュニティーセンター)
ボランティア活動	給食ボランティア	やまばと会 (第3土曜・如水コミュニティーセンター) あけぼの会 (第2木曜・如水コミュニティーセンター)
	如水で活動する地域ボランティア	おはなしサークル MOMO 日本語教室きらきら 子ども支援ボランティア中津
防災活動		中津市防災士協議会如水部会 消防団
防犯活動		防犯パトロール隊

関係機関主催の交流の場・社会貢献活動

名称	主催	対象・内容
認知症高齢者搜索模擬訓練	地域包括支援センター (高齢者相談支援センター) いずみの園	如水地区で認知症高齢者の搜索模擬訓練を実施

地区内の相談窓口

高齢者の生活全般に関する相談窓口	地域包括支援センター (高齢者相談支援センター) いずみの園
民生児童委員による心配ごと相談窓口	毎月第1木曜 13:00 ~ 15:00 如水コミュニティーセンター

その他の相談は、社会福祉協議会または市の総合相談窓口 (P.153参照) にお問い合わせ下さい